



〔管理者・保全団体〕宗教法人御瀧神社

ポイント

立谷沢地区中村集落の檜澤山の中腹にある岩間から湧き出し、神社の境内へ滝となって流れ落ちる「御瀧不動尊」は、「御瀧様」として親しまれている。また、御滝様にはトウホクオオサンショウウオが生息している。

社殿内には江戸初期の過酷な幕政に苦しむ人々を救うために活躍した義民として名高い熊谷三郎兵衛を守護神として祀る「熊谷神社」が建立され、病者の代参、商売繁昌、漁猟の豊漁祈願のため参詣する人々が絶えない。また、神社周辺が東北・北陸等に広く普及した水稻品種「亀之尾」の発祥の地であり、神社の鳥居をくぐるとそこに記念碑がある。



鳥居をくぐって境内を進む



「亀の尾」発祥地の記念碑

アクセス

(北緯 38.723986°、東経 140.017485°)

清川駅から県道45号線を南へ8km程進み、立谷沢地区肝煎の中村集落に進む。「熊谷神社」の看板から左折し1.5km程山間に入ると右手に「熊谷神社 御瀧神社」の大きな駐車場がある。鳥居をくぐり、老杉に囲まれた境内を数分ほど歩くと、熊谷神社拝殿の奥に湧水がある。

